

# 茜雲

令和4年3月16日(水)

担当：柵橋秀光 (教頭)

## ～ 令和3年度が終わりました ～



本日、阿南第一中学校の一年を締めくくる、学校で一番大事な行事の卒業証書授与式がわれました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域のご来賓をお招きすることはできませんでしたが、保護者の方々、在校生、職員で卒業生27名の旅立ちをお祝いすることができました。

卒業式は、卒業生にとって中学校最後の学校行事で、最後の発表の場です。一人一人のたくましい姿から、義務教育9年間の学びが充実していたことが分かりました。

在校生はその姿をしっかり心に留めて、これからの阿南第一中学校を支えていくことでしょう。

4月からそれぞれの新しい道に進む生徒の皆さん。この1年間で培った「生きる力」で、新しい場所でも力強く歩んで欲しい、活躍して欲しいと願っています。卒業生、在校生にむけて、地域の方・保護者の方からの応援をよろしくお願いいたします。

### 「ならし活動」開始 部活動再開へ

新年になって、ほぼ活動が出来ていませんでした。運動部は6月、吹部は7月の大会までの期間が迫ってきた今、部活動が出来ないことはとても切ないことです。体力も技能も残念ながら落ちて

いることでしょう。徐々に回復させて、6月の大会を目指して欲しいと思っています。

まん延防止等重点措置が解除されたものの、いまだ警戒レベルは高く感染防止に配慮が必要な毎日です。本格再開とはいきませんが、「ならし活動」として部単位で活動を始めました。久しぶりに朝の工程や体育館で元気に動き回る生徒の皆さんの様子を見ると、こちらまで元気になります。学校の活気が一段上がったように感じています。感染防止対策を十分に取った上で、生徒の皆さんの自主性を重んじ、できる限りを進めたいと思います。



### 学校生活の総まとめ 生徒会活動活発に

3月に入って、慌ただしく時が過ぎました。生徒総会、3年生を送る会、終業式、卒業式と。生徒会では、一年のまとめになる総会と3年生に感謝の思いを伝

える送る会の準備に追われました。

生徒総会はオンライン開催です。教室と会議室をつないで議事を進行します。

3年生を送る会も、いつもなら「生」演技や演奏で発表しますが、今回は事前に集録した発表映像をみんなで鑑賞するスタイルです。

いずれも初めての試みでしたが、映像の編集や会の進行も工夫されていて、新しい形の会が出来ました。苦労して創り上げてきた生徒会に感謝です。



明日17日(木)より、4月5日(火)まで春休みとなります。まだまだ新型コロナウイルス感染再拡大への心配はなくなっておりません。感染予防や健康には十分に注意し、進学・進級に向け充実した春休みにしてください。部活動についても十分に注意して行いますが、変更が生じた場合は随時緊急メールまたは電話等でご連絡します。

なお、3月25日(金)は新年度準備登校日で、1・2年生は8:15登校、12:10下校です。

= 令和4年度 4月当初の予定 =

4月6日(水) 始業式・入学式

新2・3年生登校 12:40 (バス 富草:雲雀沢12:20発、和合:大月12:10発)

清掃 12:50~13:05 学活 13:15~13:30

入学式・始業式 13:50~14:40 学活・3,5組担任の顔合せ 14:50~16:10

バス通生の会 16:15~16:25

下校 16:30 (バス 富草16:30、和合16:20)

7日(木):給食開始 生徒会対面式・入会式 全校学習オリエンテーション 部活動発足式

8日(金):3年実力診断テスト 11日(月):生徒会① 発育測定

12日(火):PTA常任委員会① 15日(金):防災訓練①

18日(月):交通安全教室 19日(火):3年全国学力・学習状況調査

20日(水):尿検査1次① 21日(木):尿検査1次② 生徒会②

22日(金):参観日、PTA総会 部活動正副保護者会長会①

26日(火):校長講話① 部活動対面式 27日(水):生徒総会

### << 令和3年度末転退職員 >>

在職の長短はありますが、大変お世話になりました。  
ありがとうございました。

- 小林ちや子:定年退職  
(栄養教諭、アレルギー対応、食育)
- 前澤真里:下條村立下條小学校へ  
(学校事務、PTA事務局)
- 小松大将:喬木村立喬木中学校へ  
(技術・家庭科、3学年担任、生徒会)
- 山崎江莉佳:長野県諏訪養護学校へ  
(音楽科、5組担任)

新型コロナウイルス感染防止のために  
休み中も以下の点にご留意ください。

- ・毎日健康観察(検温等)を行う。  
健康チェックカードの活用
- ・登校する場合は忘れずに持参
- ・感染拡大地域(県内外)との往来は  
慎重に判断

何かご心配なことがあれば、  
学校へご連絡ください。  
学校:0260-22-2014

### 【ご家庭の皆様、地域の皆様へ】

一年間、本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度もコロナ禍の一年となりました。感染拡大防止のため、行事の内容変更や生活の制限等に対応しながらも充実した学校生活を送り、本日無事に卒業式を終えることができました。これもひとえにご家庭の皆様、地域の皆様のお力添えのことと、深く感謝いたします。

職員一同、どの子にとっても安心・安全な学校づくりを目指して取り組んで参りました。来年度も、子どもたちがみんなが自らの成長を自覚して自己有用感が持てる学校、確かな学力と生きる力が身につく授業を目指し、ご家庭の皆様、地域の皆様とともに、進んで参りたいと思います。令和4年度も変わらぬ、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。

## 令和3年度 卒業証書授与式

### <学校長式辞>

#### 式 辞

厳しい寒さに耐え、固く閉ざしていた冬芽も、あたたかい春風にくすぐられてほころび始めました。本日は、阿南町教育委員会 林 一仁 様のご臨席を賜り、令和3年度の卒業証書授与式が、挙行されることとなりました。

27名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ただ今皆さんひとりひとりに手渡した卒業証書は、中学校の課程を全て修了し、卒業するという証です。卒業証書の左肩にはひとりひとり番号が記されています。みなさんは、阿南第一中学校の3351番目から3377番目までの卒業生として、本校の卒業生名簿に名を連ねることになります。

さて、皆さんの中学校生活はコロナなくしては語ることができないほど制限や我慢を強いられることが多くありました。「コロナ禍だから」という言葉が言い訳のように使われ、あきらめなければならないことに会うたびにうちひしがれてしまった人もいたことでしょう。しかし、私は皆さんのことを「かわいそうだ」とは思いたくないのです。

これまで知らなかった下伊那のよさを学び、「どこへ行くかではなく誰と行くかが大切だと思った」と語ってくれた修学旅行、阿南町のよさを発信したいと考えて制作したイッチューブ、今まで通りの生徒会活動を踏襲するのではなく、限られた時間と条件の中でできることを探し、新たな内容や方法でみんなの笑顔の花を咲かせた「茜祭」。数え上げれば切りがない挑戦を繰り返し、多くの気づきを得た経験は、大きく変わろうとしているこれからの社会でいつかきっと役に立つことと信じています。私たちがコロナで学んだ大切なことは、何かの、または誰かのせいにしてあきらめることではなく、自分にできることを考えて挑戦すること、そして、人とのつながりやあたりまえの日常のありがたさに改めて気づいたことだと思います。

3年生を送る会で皆さんが歌った「星影のエール」にこんな言葉がありました。「きっといつか/今日の日も/意味を持って/…/星の見えない日々を/超えるたびに/互い照らすその意味を知るのでしょう」

中学校生活の楽しかった日々・輝いた日々だけでなく、うまくいかなかった日・悲しかった日・悔しかった日、どんな今日の日も、いつの日か皆さんの人生の中で意味のある日となって、かけがえのない友の顔とともに輝きを放つことと思います。

卒業証書にひとりひとりの名前を記しながら、15年前、生まれたばかりの皆さんを宝物のように胸に抱いている親御さんや家族の姿を思い浮かべ、ひとつひとつの文字に込められたその意味を想像してみました。かわいらしく、たくましく、美しく、大きく、優しく、いさましく、先に立って、優れた力を発揮し、広い心を持ち、人と仲良く、光を放ち、遥かに続く自分の道を歩んでほしい。

道に迷わぬようにいにしえの人が星に名前をつけ、今も誰かを照らしているように、家族の思いのこもった名前を持つ皆さんもまた、いつかどこかで誰かを照らし勇気づける星になることでしょう。

今、世界では信じられないことが起きています。失われてはならない尊い命が失われています。この事実を目の前にして、私たちは自分自身が今在る意味を問うていかなければならない、それは真実を知ることかもしれない、祈ることかもしれない、声を上げることかもしれない、救いの手をさしのべることかもしれない、知らない誰かのためだけではなく、未来の自分たちのためにも問い続けていかなければならない、そう思っています。

未来は自分が創るもの、これから先も常に自分に問い続け、正解かどうかを恐れることなく、自分を信じて歩みを進めていってほしいと願っています。私たちは、これからもずっと少し離れたところから、みなさんにエールを送り続けていきます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。ふり返ればあっという間の3年間、しかし、いつの間にか目の前に立つ我が子の目の高さは親を超え、大人に近づく内面の変化に戸惑われたこともあったのではないのでしょうか。今、広い世界への入り口に立ち、新たな一歩を踏み出そうとしている我が子の力を信じて支えていただきますようお願いいたします。

本日参列していただくことができなかったご来賓の皆様・地域の皆様そして保護者の皆様の温かなご支援、ご協力にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさんの今後の飛躍と、本校に心を寄せていただいている全ての皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、式辞といたします。

令和4年3月16日

阿南町立阿南第一中学校長 田本 けい子

### <送辞>

#### 送 辞

冬の厳しい寒さも和らぎ徐々に春の暖かさが感じられいよいよ春めいて参りました。

本日、晴れてこの阿南第一中学校の卒業を迎えられた27名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

今、3年生の皆さんはこの阿南第一中学校で過ごした3年間でどのように振り返っているのでしょうか。学校生活の中で多くの人と出会い、貴重な体験をした日々は大切な思い出になっていることと思います。

皆さんは常に私たち後輩の先頭に立ち引っ張ってきてくださいました。そんな皆さんは私たちの憧れであり、そ

の姿をお手本にしてきました。部活動では常に全力で一生懸命に取り組み各部の目標に向かって努力する姿はとても輝いて見えました。そんな先輩方は、私たちのお手本であり、机の上の勉強だけでは得ることの出来ないものを教えていただきました。最後まであきらめずボールを追い、仲間と声を掛け合い一人一人の笑顔が輝いていた中体連。見ている人にたくさんの感動や喜びを与えてくださった皆さんの姿は、今も私たちの心に残っています。

また、生徒会活動では「Smile&Unity～笑顔あふれる繋がる一中～」というスローガンのもと学校をリードして来られました。「団結・協力」を大切に作り上げられた生徒会は、学校生活の中や授業中、部活動など、様々な場面でたくさんの笑顔があふれていました。また、生徒会活動を通して全校で楽しみ学ぶことが出来ました。そして、3年生を中心として行われた第53回茜祭では、「Flower～咲かせようみんなの笑顔を一中に～」というテーマのもとで多くの人に感動と驚きを与えてくださいました。特に開会式で初めて目にしたステージバックは圧巻でした。全校で協力し、AKANE FESTIVAL という文字を作ったというのもありより強く感動しました。多くの人の笑顔であふれた茜ステージ、各競技全力で競い合ったASF、一人一人の笑顔によって「あかね」の花を咲かせることが出来ました。その中でも、ASFの全校縦割りチームで行った障害物リレーでは先輩方を中心に声を合わせ他学年で協力し、何かを成し遂げる達成感を味わうことが出来ました。そして、一中の「笑顔」であふれた時間でもありました。皆さんのアイデアあふれる二日間は多くの人の心に残り忘れることのできないかけがえのない日となりました。

今、私は生徒会、部活動を引き継ぎ、中心となって運営していくことの大変さを実感しています。先輩方がいなくなると思うと寂しく心細いですが、先輩方が築き上げてくださったこの学校がより良いものになるよう、残された私たちも精一杯努力していきます。

卒業生の皆さんは、これから先、それぞれの選んだ道を進んで行かれます。時には困難にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、この阿南第一中学校で過ごしたことを思い出し、乗り越えていってください。私たちは力強く歩んでいく皆さんのことをいつまでも応援しています。

最後になりましたが、卒業される皆さんに改めて感謝の意を表するとともに、今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます、送辞とさせていただきます。

令和4年3月16日

在校生代表

## <答辞>

### 答 辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、木々の蕾も膨らみ始める季節となりました。本日は私たちのために、このご時世の中、このような素晴らしい卒業証書授与式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。先生方をはじめ、保護者のみなさまにご臨席いただきありがとうございます。そして、卒業を迎えられることに卒業生を代表して厚く御礼を申し上げます。

思い起こせば、三年前、私たちは、中学校という新しい環境に対する期待や不安をもってこの阿南第一中学校に入学しました。そんな三年間は、入学した時に思い描いていた生活とは少し違っていたのかもしれませんが、当たり前のことが当たり前ではなくなってしまった環境のなかでも、私たちは、持ち前の笑顔と仲の良さで様々な困難も乗り越えてきました。

私が、中学校生活の中で、最も多くの事を学び、印象に残っているのは、第五十三回茜祭です。本年度の茜祭は、「Flower～咲かせよう！みんなの笑顔を一中に～」をテーマとして、全校で準備を進めていきました。その期間は決して楽なものではなく、コロナ禍の影響で準備時間がなくなってしまい、思うように進まない時など、大変なことが多くありました。しかし、信じあえるクラスの仲間との協力、先生方のお力のおかげで、本番を迎えることができました。

そんな茜祭当日は、準備や練習の成果を発揮し、全校の笑顔を咲き誇らせる、私たちにしかできない文化祭を創り上げることができました。

茜祭が終わった後、私たち三年生は、それぞれの進路を決めるための大切な時期を過ごすことになりました。そんな時、先生方は、私たち一人一人に、熱心に向き合ってくださいました。そのおかげで、それぞれが自分の進む道を決めることができました。

そして何より、いつも一番近くで支えてくれた両親、家族のみんな。日々の生活から、悩んでいるときの、アドバイスなど、上げたらきりが無いほど、いつも私たちを温かく見守り、助けてくれました。本当にありがとうございました。これからも、今までと同じように心配をかけることがあると思いますが、よろしく願います。

今日、私たちは、この阿南第一中学校を卒業します。三年間楽しいことも、辛いことも共に過ごした仲間と、別れ、それぞれの道を進むこととなります。それは、とてもさみしいことですが、私たちは離れていても、互いを励まし合いながら、自分自身で決めた道を一步一步歩んでいきたいと思えます。

コロナのせいではなく、コロナがあったからこそその中学校生活三年間は、私達だけの忘れられない大切な思い出です。

最後に卒業生を代表して、今まで支えてくださったすべての方々へ感謝の気持ちをお伝えし、答辞といたします。  
令和4年3月16日

卒業生代表